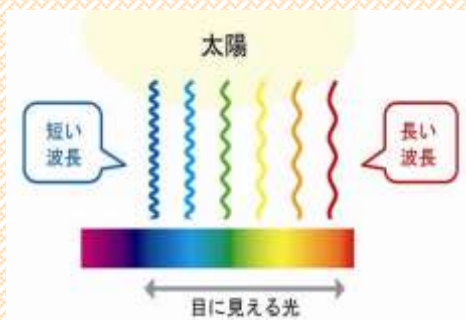


児童朝会 校長の話 10月26・27日

先週の土曜日に5・6年生の浅草っ子 Day が行われ、これで全学年のスポーツ Day が終わりました。どの学年も自分たちで工夫して企画・運営・進行し、それぞれ自分の役割を果たし、みんなで協力して行事を成功させました。とても素晴らしい行事ができて良かったです。

ところで、天気の良い日が続いています。秋晴れの空は青くてきれいですね。なぜ空は青く見えるのか考えたことがありますか？

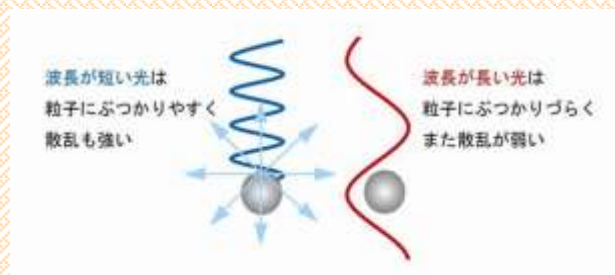
太陽の光はいろいろな色が混ざっています。赤、オレンジ、黄色、緑、青、紫…虹で見た



ことがあるでしょう。そして、光は波の性質を持っています。波の山から山までの長さを波長と言いますが、赤い光は波長が長くて青い光は波長が短いです。

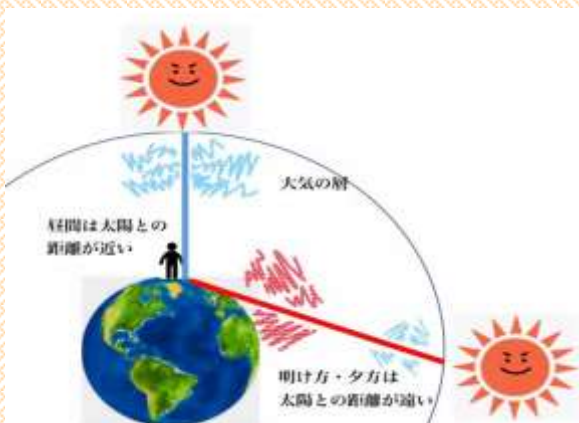
そして太陽の光が地球に届く途中で地球を覆う空

気の層を通り抜ける時、空気中の分子にぶつかって光が飛び散ります。波長が短い青い光は強く飛び散り、たくさん飛び散って人の目にたくさん届きます。赤い光は波長が長いので分子



にぶつかりづらく飛び散りません。それで、空が青く見えるのです。

朝や夕方、朝焼けや夕焼けで空が赤く見えることがありますね。昼間、太陽は真上の方から光を届けているので空気中を通過する距離が短いです。



けれども、朝や夕方は斜めから太陽の光が届いてくるので空気中を通過する距離が長いです。青い光は飛び散りきってしまい、飛び散りにくい赤やオレンジ色の光が人間の目に届きます。そのために赤やオレンジに見えるのです。何色の光が目が届くかによって空の色が変わります。きれいな青空を楽しんで、外でたくさん遊んでください。